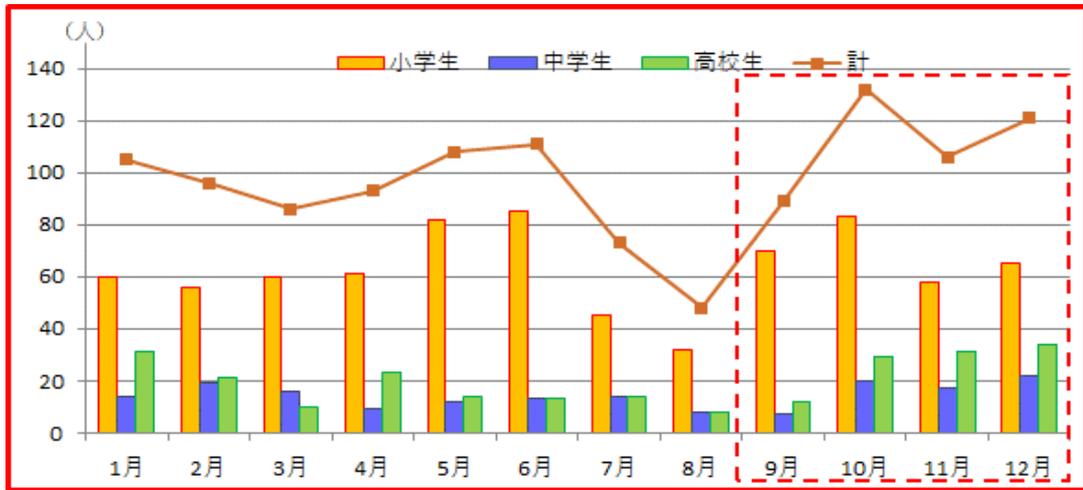


歩行中に交通事故で死傷した児童・生徒（小学生・中学生・高校生）

月別歩行中死傷者数

※平成24年～令和3年の人身交通事故



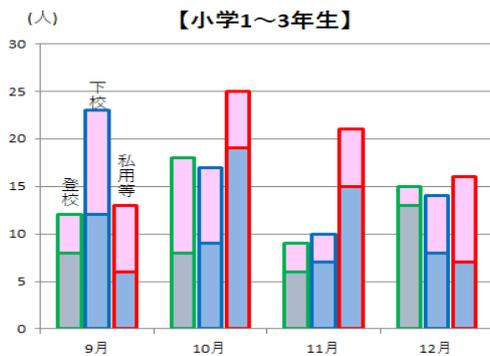
児童・生徒の歩行中事故は、7、8月は減少しますが、9月から年末にかけて増加する傾向にありますので注意してください。



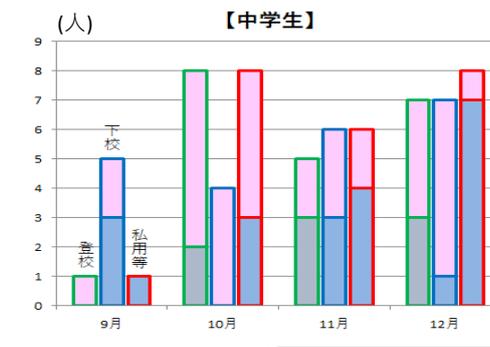
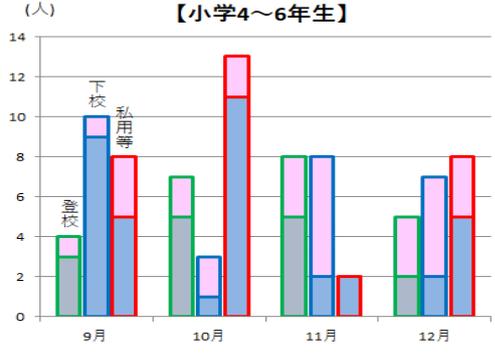
9月～12月の歩行中交通事故の特徴

● どんなときに? ～通行目的別・男女別発生状況

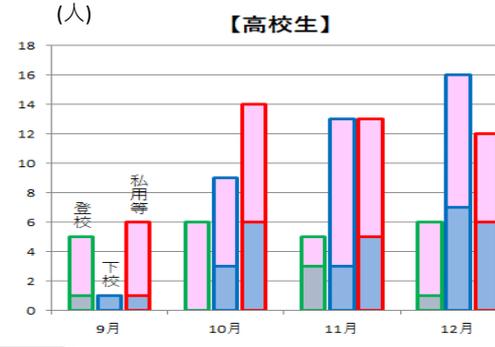
登校(女子)	下校(女子)	私用等(女子)
登校(男子)	下校(男子)	私用等(男子)



小学生は、9月は下校時、10月以降は男子の私用時が増加しています。



中学生、高校生は、9月以降、女子の割合が高くなっています。



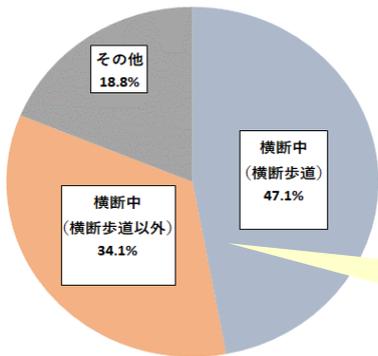
年末にかけて、中学生・高校生は下校中や私用中の事故が増える傾向にあります。夕暮れ時間帯以降は、車から歩行者は見えづらくなりますので注意しましょう。





どんな事故? ~事故類型別発生状況

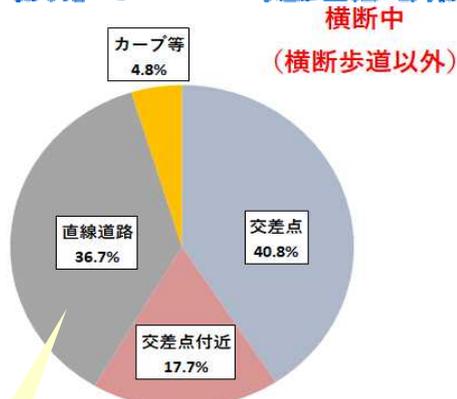
※ 9月~12月の児童・生徒の交通事故



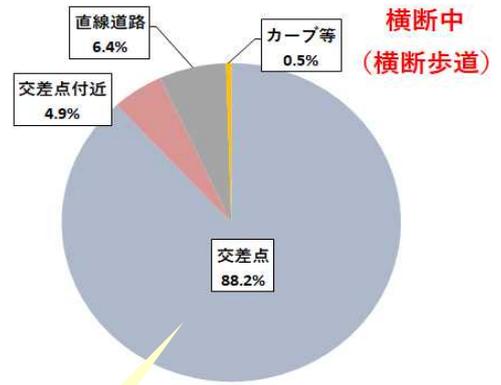
歩行中事故の8割以上が道路を横断中に発生しています。



どんな場所で? ~道路形状別発生状況

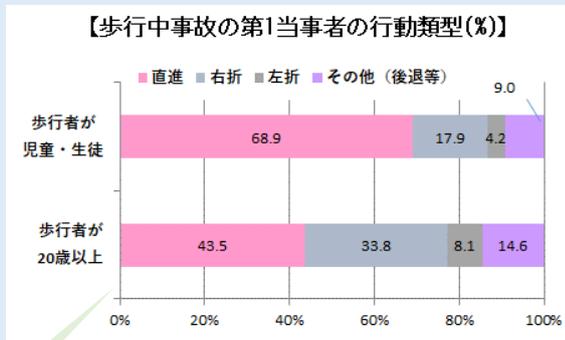


横断歩道以外を横断中の事故は、約4割が直線道路で発生しています。



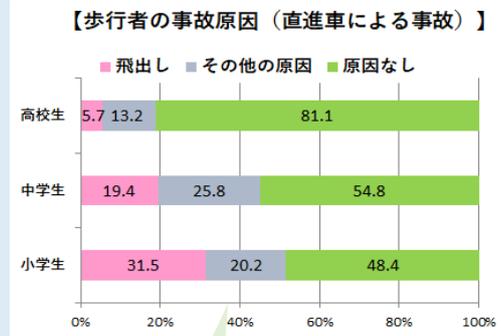
横断歩道を横断中の事故は、約9割が交差点で発生しています。

● 第1当事者の行動類型は?



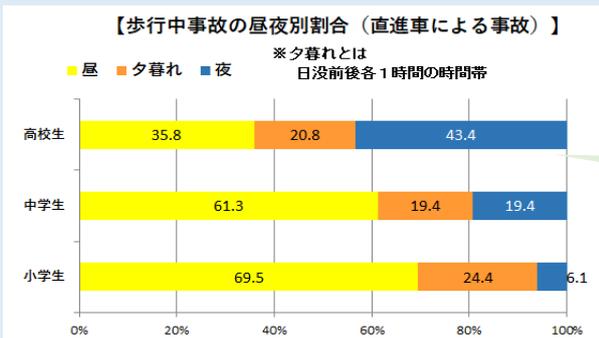
児童・生徒の事故では約7割が直進車との事故! 大人の世代と比べて、直進車との衝突が目立ちます。

● 歩行者の事故原因は?



小・中学生の事故では、4割以上が道路への飛出しなど、歩行者側にも原因があります。運転者が予測できない急な動きは危険です。

● 昼夜別の割合は?



高校生の事故では、6割以上が夜間や夕暮れ時間帯に発生しています。車が歩行者に気付いているとは限りません。夕暮れ時間帯の外出はLEDライトや反射材を活用して、昼間以上に注意して道路を通行するようにしましょう。



☆事故は誰にでも起こり得ます。決して人ごとではありません。